

町民の皆様へ新春のお慶びと

ごあいさつを申し上げます

令和5年の年頭に当たり、町民の皆様には日ごろから町政に対する温かいご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

日本国内においては、昨年2月のロシアのウクライナ侵攻に伴う生々しい戦争の悲惨さが、今なお報道されており、人権が守られ、自由な社会であることが何よりも大切だと痛感させられた1年でございました。

その自由な社会に制限を余儀なくさせたのが新型コロナウイルスであり、国と地方を通じた新型コロナウイルスとの戦いは3年に及んでいます。第8波に入ったとされており、医療機関が逼迫しない限りは行動制限はされず、一步一步コロナ前の日常が戻ってくるものと期待しております。ご協力いただいている医療従事者の皆様に心から御礼申し上げます。

このような中で3年ぶりに開催しました「まつり新宮」は大盛況で、久しぶりにお会いした町民の皆様は笑顔にほっとさせられました。やはり新宮町の1番の魅力は人と人とのつながりと活気だと再認識いたしました。また、新宮町消防団第4分団が第29回全国消防操法大会で見事優勝を果たしたことも町の大きな誇りであります。

令和5年4月には、3期12年の町長任期を迎えます。町民の皆様の信託と多大な協力を得て、多くの事業や施策を行うことができましたことを心から感謝申し上げます。振り返りますと、2期目までは人口増加対策で小中学校の新設などさまざまな事業を行ってききましたが、3期目は一転してコロナ対策に翻弄される中で、国の臨時交付金を活用





したワクチン接種や生活・産業支援を行ってまいりました。特にコロナ禍で露呈した日本のデジタル化の遅れに対しては、学校施設や公共施設のWiFi化を推進するとともに、相島への海底光ケーブルを敷設しました。国が進めるマイナンバーカードの本町の交付率は今年の3月末には全国トップクラスの70%近くとなる見込みであり、このカードを活用した町独自のデジタルサービスをご提供できればと思っております。

さらに、地球温暖化対策としての二酸化炭素の抑制については、昨年2月に「新宮町ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、今後2050年までに温室効果ガスの実質排出ゼロをめざして町内のご家庭はもとより、全ての企業・事業所を含めた取組を行っていく必要がございます。子どもたちの将来のためにご協力よろしくお願い申し上げます。

また、下府地区と三代地区においては、土地区画整理事業が進められており、下府地区は昨年11月に組合の設立認可を受け、いよいよ事業が始まります。三代地区につきましても認可に向けて取り組んでいるところでございます。

さまざまな事業を行っていくには財源が必要となるわけですが、ふるさと納税をはじめ、自主財源を確保することにより健全な財政運営に努めてまいります。

厳しさを増す社会情勢の中、新宮町は人々が支え合い、助け合うことで更に進化することができると信じております。

本年が皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

令和5年1月

新宮町長 長崎 武利

